

お客様と私たちのコミュニケーション誌

エ コ ス

ECO'S通信

VoL.170

July

2007

## 「励みの会」開催

平成19年6月23日 ホテル栄道湖において、励みの会が開催されました。第35期の第1回目となりますが、34期の成果報告と、成果を上げるために克服した問題点、またその経験を今期にどうかしていか、発展的な発表が行われました。

今回、学んだことは、①目的、目標を常に確認する。②工程管理（検討～発注～納品）をきちんとする。設備発注などの工程管理は、発注者側主導で管理していくことが必要です。③PDCAサイクルを回す。間で小会議を開いて、チェック作業を怠らなければなりません。

プロジェクトを持って、明確なゴール（目標）を目指します。目標を持つと、成果が確認できます。発表することで、情報を共有することができます。この励みの会は、トップとのコミュニケーションの場です。会社や全社員の財産となります。有効に活用されるよう、期待します。

長野記

発表する、  
吾郷社員



### 「励みの会」によせて

千賀取締役

発表を終え「やったー」と言う自負心ある笑顔と、山根社長が「ホーホーなるほど」と感心する声が聞こえる中で「励みの会」は進行しました。

「励みの会」は、社員が一生懸命工夫して成果に結びつけた価値ある内容と、日々の活動の中から考え出されたアイデアを、社長に聞いてもらうボトムアップの場です。

「サンライズ計画」の発表は、新設備による安定生産量の確保、5S活動の重要性、顧客と価格管理、新商品と新規顧客開発、廃油収集の活動、でしたがそれぞれ内容が充実していました。「安心パック」も革新的なアイデアを出す等、素晴らしい発表です。

社長は熱心に耳を傾け、相当量の情報と、社員のエネルギーを感じ取られたに違いありません。今後が楽しみです。

「励みの会」の力は偉大です。山陰興業の将来を支える原動力にもなりますので、この精神と活動力を社員の自主性で継承させて欲しいと強く願っています。

### 「励みの会」に出席して

東京システムベース 佐藤良孝様

めずらしい会社だな…。思い出します。皆さんとの出会いを。

通常、自分達の仕事に対し、社外の人間からあれこれ口を出されることは好まれず、斜に構え、素直な心で接し得ない場面が多く見受けられます。これまでの経験とは異なり、山陰興業の皆さんは、不思議な程、真正面を向いて、心を開き、私と接してくれています。

そして、びっくりしました！ 前回の励みの会とは大違い。皆さん、これまでの仕事を客観的に整理し、今後の目標・課題・対策について、背筋を伸ばし、大きな声で、自信を持って発表されていました。それも、科学的アプローチ（論理的な攻め口）を駆使し。

お客様から「また、山陰興業でお願いしたい!!」という声を頂くために、各部署の方が努力し、協力し、そして素直な心を持って勉強され、業務を遂行する上で必要な『引き出し』をより多く備えることができた結果として、第34期の目標を達成できたと思います。

第35期も、お客様から「また、山陰興業でお願いしたい!!」の声を頂くために、切磋琢磨されることを願っております。

安原さん、松下さん、河上さん、木村さん、吾郷さん、榎並さん、皆さんの真剣な発表に感動しました！





# 繁盛店訪問

皆生グランドホテル天水 様  
〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉  
TEL 0859-33-3531 FAX 0859-33-3607  
米子・皆生温泉 華水亭 様  
〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉  
TEL 0859-33-0001 FAX 0859-33-0303



華水亭の全景。平成元年6月にオープンしました。天水は、客室102室550名収容、華水亭は79室390名収容です。皆生温泉で500人収容できる唯一のホテルです。

「皆で生きる」と書いて皆生温泉(かいけおんせん)。東に伯耆富士といわれる大山がそびえ、目の前は、とても美しい皆生海岸が広がっています。温泉と夏のレジャーが楽しめる場所です。

皆生温泉の泉質は弱食塩泉。当館は自社で泉源を発掘されました。

「お客さまに喜んでいただくために」を全ての基本として、サービスの向上につとめておられます。社訓は「全社員総セールスマン」。社業を発展させることが、皆の幸せにつながるということです。

昭和42年10月1日に皆生グランドホテルは営業開始しました。創立39年、日ごろのご愛顧に感謝をこめ

て、平成19年4月1日より9月30日まで、39(サンキュー)キャンペーンを開催しています。とれたての地産食材でうれしいおもてなしでリフレッシュできます。

毎年夏に天水2階グランドパレスにおいて、ジャズコンサートが開催されます。今年は7月27日です。ニューオリンズジャズをお楽しみいただけます。詳しくは当館まで。

また、当地は、日本トリアスロン発祥の地です。昭和56年8月20日、水泳・自転車・マラソンの3種類を一人でやり遂げる世界で最も過酷なレース「トリアスロン」を日本で始めて皆生で開催されました。今年7月15日の開催です。熱い戦いがくりひろげられ

「松風の湯」露天風呂・寝湯になっています。(華水亭)



「大山の湯屋」露天風呂。松林の向こうは、日本海です。(華水亭)

ることでしよう。

皆生海岸に隣接し、環境整備に積極的に取り組んでおられます。海水浴シーズンの7月8日には、全社員がボランティアで海岸掃除を行っておられます。美しい砂浜を守っています。



館内をご案内いただいた、野本節雄さま。社員の誕生祝いとして、誕生月に当館に泊まってお祝いをうけるそうです。ホテルならではの粋なお祝いです。

お客さまの非日常を演出するため、全社員のかたが心を尽くしてまいります。豊かな泉源で、ゆったりと温泉につかり、夏は岩がき、冬は松葉ガニ…と、日本屈指の水揚げを誇る境港から、山陰の海の幸を存分に堪能することが出来ます。皆様でお越しく下さい！！

夏休みになると、天水のプールは子供達でにぎわいます。ラウンジからすぐ見えるところなので安心です。



## ISO14001活動報告

原油高の状況が続く中、再生油への関心も高まり、それに伴い原料である廃油の収集競争が激化してきました。そんななかで、当社として組織的な戦略で応戦し、原料の確保をしなければなりません。出雲工場が増築し新しくなって生産も安定するようになりました。



雨の中での一斉清掃

6月は、単月で過去最高量の廃油を処理することができました。ボイラーは順調に稼働し、トラブルの項目が減りました。お客さまから排出される廃油を適正に、多く、安定して処理することができるようになりました。

よって、お客様の固定化が図れるよう、営業を強化していきます。特に、廃油タンク周りの清掃や古いタンクは交換するなど、環境面を考えていきます。

長野記



♪山の畑の桑の実を小籠に摘んだはまほろしか...♪ 童謡赤とんぼの2番の歌詞です。初夏にたわわに実をつけます。熟すととてもおいしいです。(撮影 長野)

## 工事部検査車改造

工事部車輛には、たくさん資機材を載せます。新車購入に併せ、車内空間を有効利用し、使い勝手が良いように車内を改造しました。工事部全員で考えました。安全性、収納、見栄え等が考慮されています。



車横の小道具をひっかけるフックの下地は、メッシュ板にしました。外光が車内に入るため、明るく、作業効率がアップすることでしょう。



また、スモークガラスを保護するため、メッシュ板を取り付けました。資機材でガラスを傷つけるのを防ぎ、また、外光が入るので、車内が暗くなりません。



床はベニヤ板を敷き、その上に鉄板を貼って塗装しています。鉄板を貼ることにより、ささくることがなく、きれいな状態を保つことができます。

また、引き出し右側にわずかなすき間をとっています。これはパッキン等をすき間に挟み込み、ぶれないようにするためです。こういったところも、計算されています。



コードリールも固定され、出し入れがスムーズにできます。今後、社業に貢献してくれると確信します。

長野記

## 山陰興業(株)蔵書新着情報

6月に購入した本を紹介します。誰でも貸出可能です。貸出及び返却は井上さんを通してお願いします。また、書籍の購入希望がありましたら、井上さんまで申し出てください。社長と検討の上、購入致します。ジャンルは問いません。

- 【書籍】
- ・和の心日本の美 松江 松江観光協会
  - ・ふつうはつらいよ 斎藤 一人 マキニ出版
  - ・稲森和夫の「人生の方程式」 曹しゅう雲 サンマーク出版
  - ・バルサの翼 吉田 照美 ランダムハウス講談社
  - ・八甲田山死の彷徨 新田次郎 新潮文庫
  - ・バッテリー I 巻～VI巻 あさのあつこ 角川文庫
  - ・蔵人(クロード) 尾瀬あきら 小学館
  - ・はじめて考えるときのよう に 野矢茂樹 PHP文庫
  - ・日本という国 小熊英二 理論社
  - ・臆病者の経営学 木越和夫 PHP研究社
  - ・愚直に実行せよ！ 人と組織を動かすリーダー論 中谷巖 PHPビジネス新書

- 【雑誌】
- ・日経トレンディ 2007.7 日経ホーム出版
  - ・いきいき 2007.7 ユーリーグ(株)

## 自分を高める今月の一冊

7月の指定図書

がばいばあちゃんの勇気がわく50の言葉  
島田洋七著 徳間書房刊  
死ぬまで夢をもて！その夢が叶わなくても、しよせん夢だから。



このシリーズが、累計で四百万部を超えるベストセラーであるということは、何を示すのでしょうか？

「原爆は終戦させるためには、しょうがなかった」と、原爆で肉親を亡くした人たちの切ない気持ちを、ヤスリで逆なでする馬鹿な政治家がいる。私腹を肥やす元役人がいる。

彼たちはすべて高等教育を受け、本来は、日本を、私たちに正しい方向へ導くリーダーであったはず。この現象を日本の末期と考えるか、悪いやつ、悪い制度が減っていく社会の自浄作用によって、このあとは明るい未来が輝くのか。あなたのご意見は？

「今世の中にいちばん足りないものが、ばあちゃんの言葉のなかにはたくさん詰まっているから・・・豊かさゆえに、俺たち日本人がいつの間になくしてしまったものばかりだ。そして、若い人からお年寄りまで、多くの人がそのことに気づき始めている。」だから四百万部なのです。

私は、がばいばあちゃんの考え方と行動は、日本人のDNAのなかで連綿と伝えられていて、社会は正しい方向に、明るい方向に導かれていくと信じています。一人一人が勇気を持って、明るい日本をつくりましょう。

山根記



皆さん、いかがお過ごしですか？研修アンケート項目の中に必ず入れている質問で、  
**“研修を通してあなた自身のこれからの課題は具体的にどのようなことですか？”**

に対して、次のような答えが返ってきた。

- 笑顔で電話に出る事 (安原幸治)
- 笑顔 (河上康久)
- はっきり話す事 (岸本康宏)
- いつでも大きい声が出せるように (寺本 陽)
- 人の躰を見て今一度自分を省みる (福間光昭)
- 「躰」を意識する (松原 章)
- 立って、笑顔を含めて挨拶すること (山口竜彦)
- アイコンタクトと笑顔 (木村憲二)
- もう少し落ち着いて話すように心掛け (横地健志)
- 短期にならず気長に (岡田崇志)
- 姿勢を良くする (植尾 大)
- 落ち着いて大勢の前で挨拶をする (井上教子)
- 早口でしゃべらない事(一語一句ははっきりしゃべる)
- 30秒自己紹介がきちんと出来る様になる事！！

- (榎並三恵)
- 笑顔で相手より先に挨拶する (長野弘子)

学びの中で、気付きがある。  
 そして、その気付きから自分の事に置き換えて考えてみる。

研修も、気付いただけで終わってしまうのは、かなりもったいない。

その、気付きを行動に移し、振り返り、そして改善し、また、行動する。

そこからしか結果は生まれてこないと私は考えている。

そんな気持ちの質問アンケートなのだ。

新谷文子

[アドレス:nmay427@cocoa.plala.or.jp](mailto:nmay427@cocoa.plala.or.jp)

♪夏が来れば思い出す、遙かな尾瀬...、水芭蕉の花が咲いている...♪  
 お馴染みの歌「夏の思い出」に出てきます。水芭蕉の花をみると、尾瀬を思い浮かべます。水芭蕉の花道を歩いてみたいですね。(安来市にて撮影 長野)



## 原稿を公募します

本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、環境をテーマにしたものを希望します。薄謝ですが、原稿料を支払います。締め切りは、今月末です。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。

### 今月のクイズ

解答を下記の編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今回の賞品は、宍道湖産しじみです。締切は今月末です。

ふるってご応募ください。

Q 南瓜のよみかたは？



先月号の答えはじゃがいもでした。抽選の結果、大山町松本さまが当選です。おめでとうございます。

### 応募用紙 (答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail n-hiroko@trust.ocn.ne.jp

### 編集後記

大田市の石見銀山遺跡が世界遺産に登録されました。島根県民として、大変誇りに感じます。「自然と共生」がキーワードです。その価値をわかりやすく伝えるため、銀山の歴史や鉱山が果たした役割を解説する資料館を早期に開設していただきたいと思います。また、登録前から危惧されていましたが、どっと押し寄せる観光客から住民の生活が守れるか？タイムスリップしたかのような大森町の町並みを今後どのようにして保存していくか？観光にばかり目を向けず、「自然と共生」できるように、自然環境に配慮した整備をお願いします。

発行日：毎月10日

発行：690-0025

島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470

FAX 0852-37-2472

山陰興業株式会社 ECO'S通信編集部 長野

E-mail :n-hiroko@trust.ocn.ne.jp